

3月議会報告

財政危機を口実に 子育て支援を削るな

小矢部市は一般財源が4億円不足するとの触れ込みのもと、子育て支援（インフルエンザ予防接種補助や就学援助など）を削りました。砂田市議は「ハコモノ建設の『爆買い』が招いた失政のツケを市民にまわすな」ときびしく批判しました。

市の財政危機は、公共施設統廃合を迫る国の方針に追随して、第6次総合計画にも載っていない2つの統合（ども園建設（21.5億円）など、ハコモノ建設を急いだために引き起したものです。

市の負債 221億円超に急増

一般会計が抱える市債借金残高は2020年度末残高見込みで、181億7961万4千円です。12年度まではほぼ120億円前後でしたが、ここ数年で急増しました。ハコモノ建設が続いたからです。

このほかに債務負担行為（市債とは別に、市が今後、税金で支払うことを議会の議決で約束した負債）の20年度以降の支払い予定額は39億7452万9千円です。この二つ合わせると221億5414万3千円の負債を抱えていることとなります。



ハコモノ建設の「爆買い」が招いた 財政危機

財政規律を無視した失政 ツケを市民に回すな

砂田市議は、市債発行額を借金の元金返済額の範囲内に抑えるという財政規律を無視したための財政危機である。自分の懐具合を考えずに爆買いをしたのと同じことだ。そのツケを市民サービスの切り下げに押しつけるのは本末転倒だ」と批判しました。

補助金の是非 基準を憲法に

補助金の何を削るのか、何を削ってはならないのか、その基準に憲法を置くべきです。憲法は納税の義務（第30条）を定め、その税金は憲法第25条で、国民の健康で文化的な最低限度の生活を保障することに使われねばなりません。26条には等しく教育を受ける権利、義務教育の無償化を明記しています。子育てや医療、介護そして教育に補助金を使うことは、税金本来の使い道です。補助金の費用対効果を検討する以前の問題です。

新婦人小矢部支部 市長に請願

子育て家庭への支援 継続を

新日本婦人の会小矢部支部（上田由美子支部長）は3月2日、桜井市長、野澤教育長、民生部長に対して子どもインフルエンザ予防接種補助の削減と就学援助対象者を減らすことを改めるよう求めて、次の請願をしました。

小矢部市では2017年度から、子どものインフルエンザ予防接種に1回2000円補助され、子育て世代に喜ばれています。ところが2020年度の予算で、2000円から1000円に減らすことが提案されています。

また就学援助を受ける世帯の所得基準を生活保護基準の1.5倍から1.2倍へ引き下げることが提案されています。この二つは、生活が苦しいなかで子育てしている家庭に大きな打撃となります。そのため次の事項を請願します。



(1) 子どものインフルエンザ予防接種の1回当たりの補助2000円を減らさないでください。

(2) 就学援助対象世帯の所得基準について、これまでの生活保護基準の1.5倍を維持してください。

歯の矯正に 公的保険の適用・市の助成を

【砂田市議】 歯並びが悪いと虫歯や歯周病などさまざまな問題が起きる可能性がある。子どもの歯の矯正に公的保険の適用や市の助成をできないか。学校の健康診断で要治療となった子どもの歯の矯正を、保険適用にしてほしいとの署名が、全国で8万1千人にまで広がっている。お母さんたちは1月15日、橋本岳厚生労働副大臣に直談判したら、橋本副大臣は「保険適用されないのはスジが通らない」と改善を約束した。ぜひ実現するように努力していただきたい。

【民生部長】 歯科矯正治療の公的保険適用拡大については、さまざまなところで議論されている。本市としては今後、国の動向や他市町村の助成状況を把握し、必要に応じて国や関係機関への要望を検討したい。まずは国において公的保険適用となることを第一と考えており、本市としての独自助成は考えていない。

【砂田市議】 子どもが生まれたら国保税が高くなるということを止めれば、人口増につながるわけで、ぜひそうしてもらいたい。小矢部市はこれまで子育て支援で県内の先進を走ってきた。担当者に聞くと、他市町村に遠慮して独自にやるのがためらわれるということも伺っている。市長が率先して動いてはどうか。

【桜井市長】 おっしゃることはよく理解しているつもりだ。少し検討もさせてほしい。

【砂田市議】 小矢部市が独自にやるということも検討するということなので、担当者の方にもぜひ検討してほしい。

学校給食、パンに国産小麦を

【砂田市議】 学校給食、パンから、発がん性が疑われる除草剤ラウンドアップの主成分グリホサートの残留が検出された。外国産小麦100%で製造された学校給食、パンや、外国産80%・国内産20%小麦を原料としたものすべてからグリホサートが0.04PPMから0.08PPMが検出された。国産小麦からは検出されなかった。

ある有機栽培農家が自らの頭髪検査をしたら本人達からはグリホサートが検出されなかったが、給食、パンを食べている子どもから検出されたそう。このままでは子どもへの影響が心配される。国産小麦に切り替えるようにしてほしい。

教育委員会事務局長

子どもたちに、より安全で安心できる給食を安定的に提供することは重要なことであり、今後は国産小麦の利用を研究していただくよう、富山県学校給食会に要望していきたい。

国保税の軽減

特に子どもの均等割廃止を

【砂田市議】 18歳までの子どもの均等割廃止に必要な金額は？

【市民課長】 760万円だ。

【砂田市議】 これを一般会計で負担することは、国も決算補填目的ではないとして、ペナルティーの対象外としている。そこで市が率先して、760万円を負担して子ども均等割廃止してはどうか。国が廃止すれば市の負担はなくなるので、それまで、国を動かす投資だと思つてやったらどうか。